

# Express5800 シリーズ

## N8103-86 ディスクアレイコントローラ(0ch)

### ご使用時の注意



本製品に添付のユーザースガイドとあわせてお読みください

#### 1. イベントに関する注意事項について

##### 1.1 OS 起動時に発生するイベント

本ディスクアレイコントローラをご使用されている環境において、OS 起動時に次のイベントが発生することがありますが、動作上問題はありません。本イベントのメッセージは、OS 起動時にドライバが初期化処理を行ったことを示す正常なメッセージであり、異常を通知するものではありません。

```
[BAB0146] Device at (I20-0, 1, x, 0) returned SCSI status: Check condition
          x は SCSI ID
[BAB0156] Device at (I20-0, 1, x, 0) returned request status:
          (Key: 00000006, ASC: 00000029, ASCQ: 00000002)
          x は SCSI ID
```

##### 1.2 高負荷使用時に発生するイベント

本ディスクアレイコントローラをご使用されている環境において、ディスクへの I/O 負荷が高い時に次のイベントが発生することがありますが、動作として問題はありません。本イベントのメッセージは、I/O 高負荷時に SCSI バスをリセットしてリトライ処理を行ったことを示すものです。本イベントの直後に異常を示すイベントが記録されていない場合は、リトライ処理が成功していますので問題ありません。

```
[BAB0141] Adapter Status (0x0000000e) reported for device at (I20-0, 1, x, 0)
          x は SCSI ID
[BAB0141] Adapter Status (0x00000014) reported for device at (I20-0, 1, x, 0)
          x は SCSI ID
[BAB0275] Bus reset occurred on channel 1 of board I20-0:
          External device or initiator caused incoming bus reset
[BAB0277] Bus reset occurred on channel 1 of board I20-0:
          Command watchdog time-out caused the bus to be reset
```

また、システムイベントログに以下のメッセージが表示されることがありますが、コントローラ内部のリカバリ処理により回復しますので、動作上問題はありません。

- 1) ソース : dpti2o                      種類 : エラー                      イベント ID : 11  
      ドライバは ¥Device¥Scsi¥dpti2o1 でコントローラ エラーを検出しました。
- 2) ソース : disk                        種類 : 警告                      イベント ID : 51  
      ページング操作中にデバイス ¥Device¥Harddisk0¥DRX 上でエラーが検出されました。



## 2 . Zero Channel RAID Storage Manager™ Browser Edition ユーザーズガイド記載訂正について

Zero Channel RAID Storage Manager™ - Browser Edition ユーザーズガイドに記載の内容について、誤記(2箇所)があります。次のように読みかえをお願いします。

<訂正箇所 1> 「付録C. 通報監視について」の手順2 (33ページ)

**【誤】**

2. 「~~¥ASMBE¥ASMLERT~~」にある「IROCALERT.EXE」を起動する。

**【正】**

2. 「~~¥ASMBE¥ASMLERT~~」にある「JASMALRT.EXE」を起動する。

<訂正箇所 2> 「付録E.ESMPRO/ServerAgent」(38ページ)

**【誤】**

- ・ Express サーバに ESMPRO/ServerAgent Ver4.1 がインストールされていること

**【正】**

- ・ Express サーバに ESMPRO/ServerAgent がインストールされていること

## 3 . Zero Channel RAID 環境におけるダイナミックディスクについて

本ディスクアレイコントローラでは、ダイナミックディスクをサポートしておりません。

- 本ディスクアレイコントローラ上にダイナミックディスクを作成しないでください。
- 他の装置上で使用していたハードディスクでダイナミックディスクが作成されていたもの(注 1)を、本ディスクアレイコントローラのアレイメンバおよびホットスペアとして使用する場合は、移行前の装置上で一旦ダイナミックディスクの設定を解除するか、またはフォーマットを行ったうえでご使用ください。  
(注1)他のディスクアレイコントローラのアレイメンバで、かつアレイ上にダイナミックディスクが作成されていたハードディスクも含まれます。

## 4 . リビルドの再開について

一旦中断したリビルドは再開することができません。再度、リビルドを実施する場合は、SMORまたはASMBEによりFailed状態になっているアレイメンバのハードディスクを確認のうえ、一旦取り外し、再度挿入し直してリビルドを行ってください。

## 5 . Write Cacheについて

本製品のWrite CacheはBIOS上で動作するユーティリティSMOR(詳細はN8103-86ディスクアレイコントローラ(0ch)ユーザーズガイドをご参照ください)またはOS上で動作するユーティリティASMBE(詳細はZero Channel RAID Storage Manager™ - Browser Edition ユーザーズガイドをご参照ください)を用いて設定します。SMORとASMBEではWrite Cacheの設定方法がそれぞれ異なり、SMORではコントローラごとに、ASMBEではRAIDごとにWrite Cacheを設定します。そのため、ASMBEで特定のRAIDに対してWrite Cacheの設定を行った場合、SMOR上からはこの設定を確認することはできません。それぞれのユーティリティにて設定されたWrite Cacheの情報は、各ユーティリティにて確認を行ってください。これは製品仕様です。

以上